

科学研究費 [平成 25 年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
がん症状マネジメントにおける看護介入モデルの症状別臨床普及版の開発	内布 敦子	川崎 優子 中野 宏恵	平成24年 } 平成27年
「食」からはじめる施設入居高齢者の生活再構築支援モデルの開発	坂下 玲子	松下 健二 (独立行政法人国立長寿医療研究センター) 佐藤 拓一 (東北大学) 加治 秀介 金 外淑 森本 美智子 高見 美保	平成24年 } 平成26年
「糖尿病患者へのエンボディメントケア」の効果検証とその実用化への方略の検討	野並 葉子	米田 昭子 (山梨県立大学) 添田 百合子 (創価大学) 魚里 明子 (関西看護医療大学) 河田 照絵 (東京医科大学)	平成25年 } 平成27年
災害に対する看護の備えに関するグローバル・ナショナルスタンダードの構築	山本 あい子	上泉 和子 (青森県立保健大学) 大野 かおり (園田学園女子大学) 黒瀧 安紀子	平成23年 } 平成25年
リウマチ看護師の専門性の可視化・構造化と戦略的早期看護介入の確立	神崎 初美	泉 キヨ子 (帝京科学大学) 三浦 靖史 (神戸大学・大学院) 金 外淑 神原 咲子 (高知県立大学) 松本 美富士 (藤田保健衛生大学)	平成23年 } 平成25年
多文化共生社会における外国人高齢者の在宅ケアモデルの構築に関する基礎的研究	李 錦純		平成 24 年 } 平成 27 年
過食・ストレスとHDL代謝をつなぐニューロペプチドY受容体の解析	加治 秀介		平成 25 年 } 平成 27 年
災害への心の備えと具体的行動化を促す『小児病棟用ケアパッケージ』の効果検証	三宅 一代	片田 範子	平成24年 } 平成26年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
避難所内の被災者に対する支援活動を体験的に学習するための教育・研修方法の開発	片山 貴文		平成24年 } 平成26年
呼吸器感染症状に関するセルフモニタリング促進プログラムの検証及び臨床導入への検討	森 菊子		平成24年 } 平成27年
オーダーメイド医療におけるがん患者用のWEB版意思決定看護支援プログラムの開発	川崎 優子	内布 敦子	平成24年 } 平成26年
保健師基礎教育における地域看護診断の演習・実習で用いる評価ツールの開発	牛尾 裕子	塩見 美沙 飯野 理恵 (千葉大学) 松下 光子 (岐阜県立大学)	平成24年 } 平成26年
認知症高齢者と家族介護者の「理解と関係を促進する介入プログラム」の開発	高見 美保	石橋 信江 加藤 泰子 武林 智子	平成24年 } 平成26年
青年・成人期の広汎性発達障害者の家族へのQOLを指標とした支援プログラムの開発	川田 美和	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 片山 貴文 岡田 俊 (名古屋大学)	平成24年 } 平成26年
自殺未遂者に対する携帯メールを利用した自殺予防アプローチの構築	児玉 豊彦	橋本 健志 (神戸大学・医学部付属病院) 久保田 寛子 高木 幸子 (国立精神/神経医療研究センター)	平成24年 } 平成26年
身体活動量不足と低い起床時体温との関連は夜間末梢熱放散機能低下の影響か	柴田 真志		平成23年 } 平成25年
線維筋痛症患者への心理教育ガイドラインの作成とその実証的研究	金 外淑	村上 正人 (日本大学板橋病院) 松野 俊夫 (日本大学) 住吉 和子 (岡山県立大学)	平成23年 } 平成25年
心拍データによる睡眠評価方法を用いた睡眠への看護介入効果の評価	谷田 恵子		平成23年 } 平成25年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
保健師学生の対象アセスメント能力の向上を意図した視聴覚教材の開発	塩見 美抄	牛尾 裕子 井上 清美 (神戸常磐大学)	平成23年 } 平成25年
臨床看護ケアの質向上をめざし臨床と大学が協働する看護研究支援システムの開発	内布 敦子	坂下 玲子	平成24年 } 平成25年
まちの保健室ナースの看護力で形成する急病や災害に備えられるまちづくりと効果の検証	神崎 初美		平成24年 } 平成26年
災害サイクル別障害者用健康ニード査定 の国際基準の開発	山本 あい子		平成24年 } 平成25年
「国際まちの保健室」の開設と運営による 在日外国人の「健康促進プログラム」の 開発	呉 小玉	佐藤 文子 (千里金蘭大学) 中田 涼子 黒野 利佐子 (神戸常盤大学) 山本 あい子	平成25年 } 平成27年
とまらない院内感染は防止できるか？ MRSA 撲滅に向けての清掃ガイドライン 作成	森本 美智子	藤田 直久 (京都府立医科大学) 田辺 文憲 (山梨大学) 大沢 一貴 (長崎大学) 池原 弘展 東 和宏	平成25年 } 平成27年
外来通院中の切迫早産妊婦の早産予防 のための症状マネジメント支援	工藤 美子		平成25年 } 平成27年
小児のセルフケア看護理論の構築に向 けた必要要素の抽出によるモデルの作 成	片田 範子		平成25年 } 平成25年
高齢慢性心不全患者に対する遠隔看護 の有用性の検証	石橋 信江		平成24年 } 平成26年
舌機能に着目した咀嚼嚥下機能向上支 援プログラムの開発	坂下 玲子	松下 健二 (独立行政法人国立長寿医 療研究センター)	平成23年 } 平成25年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
公吏の学習歴－任用史料にみる明治日本の地域エリートの実像	池田 雅則		平成25年 ～ 平成28年
慢性呼吸不全における在宅酸素療法患者の生活機能の評価に対する尺度開発	由雄 緩子		平成25年 ～ 平成26年
糖尿病患者の動脈硬化症による血流障害予防のためのケアモデルの開発	片岡 千明		平成25年 ～ 平成27年
レビー小体型認知症の高齢者への看護指針の作成と妥当性の検証	加藤 素子		平成25年 ～ 平成27年
安全な出産と快適な育児期を過ごすための妊娠中から取り組む睡眠プログラムの検証	宮川 幸代		平成24年 ～ 平成26年
病院組織に勤務する看護師における世代継承性モデルの開発と検証	藤原 史博		平成24年 ～ 平成26年
災害時の外部支援受け入れに影響する要因についての研究	黒瀧 安紀子		平成23年 ～ 平成25年

科学研究費 [平成 26 年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
オレムのセルフケア理論を基盤とした「こどもセルフケア看護理論」の構築	片田 範子	勝田 仁美 (岐阜県立看護大学) 添田 啓子 (埼玉県立大学) 加藤 令子 (共立女子大学) 中野 綾美 (高知県立大学) 及川 郁子 (聖路加国際大学)	平成26年 ～ 平成29年
がん症状マネジメントにおける看護介入モデルの症状別臨床普及版の開発	内布 敦子	中野 宏恵 川崎 優子 永山 博美	平成24年 ～ 平成27年
「食」からはじめる施設入居高齢者の生活再構築支援モデルの開発	坂下 玲子	佐藤 拓一 (東北大学) 藤尾 祐子 (順天堂大学) 松下 健二 (独立行政法人国立長寿 医療研究センター) 高見 美保 森本 美智子 加治 秀介 金 外淑	平成24年 ～ 平成26年
「糖尿病患者へのエンボディメントケア」の効果検証とその実用化への方略の検討	野並 葉子	米田 昭子 (山梨県立大学) 添田 百合子 (創価大学) 魚里 明子 (関西看護医療大学) 河田 照絵 (東京医科大学) 佐佐木 智絵 (関西国際大学) 片岡 千明	平成25年 ～ 平成27年
心拍データによる睡眠評価方法を用いた睡眠への看護介入効果の評価	谷田 恵子		平成23年 ～ 平成26年
災害への心の備えと具体的行動化を促す『小児病棟用ケアパッケージ』の効果検証	三宅 一代	片田 範子	平成24年 ～ 平成26年
避難所内の被災者に対する支援活動を体験的に学習するための教育・研修方法の開発	片山 貴文		平成24年 ～ 平成26年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
呼吸器感染症状に関するセルフモニタリング促進プログラムの検証及び臨床導入への検討	森 菊子		平成24年 ） 平成27年
オーダーメイド医療におけるがん患者用のWEB版意思決定看護支援プログラムの開発	川崎 優子	内布 敦子	平成24年 ） 平成26年
保健師基礎教育における地域看護診断の演習・実習で用いる評価ツールの開発	牛尾 裕子	飯野 理恵 (千葉大学) 松下 光子 (岐阜県立看護大学) 塩見 美抄	平成24年 ） 平成26年
認知症高齢者と家族介護者の「理解と関係を促進する介入プログラム」の開発	高見 美保	加藤 泰子	平成24年 ） 平成26年
青年・成人期の広汎性発達障害者の家族へのQOLを指標とした支援プログラムの開発	川田 美和	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (名古屋大学) 片山 貴文	平成24年 ） 平成26年
多文化共生社会における外国人高齢者の在宅ケアモデルの構築に関する基礎的研究	李 錦純		平成24年 ） 平成27年
過食・ストレスとHDL代謝をつなぐニューロペプチドY受容体の解析	加治 秀介		平成25年 ） 平成27年
看護組織における参加的意思決定の構造	増野 園恵	藤原 史博	平成26年 ） 平成28年
腰骨盤痛を持つ妊婦の個別性に合わせた介入方略の開発と検証	槻木 直子		平成26年 ） 平成28年
とまらない院内感染は防止できるか？MRSA撲滅に向けての清掃ガイドライン作成	森本 美智子	田辺 文憲 (山梨大学) 荒川 創一 (神戸大学) 池原 弘展 東 知宏	平成25年 ） 平成27年
外来通院中の切迫早産妊婦の早産予防のための症状マネジメント支援	工藤 美子		平成25年 ） 平成27年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
災害復興期における住民の健康生活情報の可視化・介入意思決定支援システムの開発	小西 美和子	信川 創 (福井工業大学) 増野 園恵	平成26年) 平成27年
PMSの実態と「浮き指」の関連について	赤松 恵美		平成26年) 平成28年
「国際まちの保健室」の開設と運営による在日外国人の「健康促進プログラム」の開発	呉 小玉	佐藤 文子 (千里金蘭大学) 中田 涼子 黒野 利佐子 (神戸常盤大学) 山本 あい子	平成25年) 平成27年
病院組織に勤務する看護師における世代継承性モデルの開発と検証	藤原 史博		平成24年) 平成26年
安全な出産と快適な育児期を過ごすための妊娠中から取り組む睡眠プログラムの検証	宮川 幸代		平成24年) 平成26年
公吏の学習歴－任用資料にみる明治日本の地域エリートの実像	池田 雅則		平成25年) 平成28年
慢性呼吸不全における在宅酸素療法患者の生活機能の評価に対する尺度開発	由雄 緩子		平成25年) 平成26年
糖尿病患者の動脈硬化症による血流障害予防のためのケアモデルの開発	片岡 千明		平成25年) 平成27年
レビー小体型認知症の高齢者への看護指針の作成と妥当性の検証	加藤 素子		平成25年) 平成28年
自然災害時に病院看護管理者が人的外部支援受け入れに至る過程の構造の明確化	黒瀧 安紀子		平成26年) 平成28年
術後精神機能の回復アセスメントツールの開発及びケアモデルの構築	小野 博史		平成26年) 平成28年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
独居要介護高齢者の安全に関する訪問時間内外を含めた訪問看護実践についての研究	小枝 美由紀		平成26年 ） 平成27年
妊娠初期の妊婦が自らに合ったつわり軽減方法を見出すための看護援助プログラムの検証	岩國 亜紀子		平成26年 ） 平成27年

科学研究費 [平成27年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
輸入・振興感染症から医療従事者を守れ！臨床現場ガイドライン策定のための防護具研究	片田 範子	勝田 仁美 (岐阜県立看護大学) 添田 啓子 (埼玉県立大学) 加藤 令子 (共立女子大学) 中野 綾美 (高知県立大学) 及川 郁子 (聖路加国際大学)	平成26年 ～ 平成29年
がん症状マネジメントにおける看護介入モデルの症状別臨床普及版の開発	森本 美智子	篠原 克明 (国立感染症研究所) 嶋崎 典子 (国立感染症研究所) 田辺 文憲 (山梨大学) 加藤 伊陽子 (山梨大学) 荒川 創一 (神戸大学) 伊藤 ちぢ代 内田 幸子 (高崎健康福祉大学) 小柴 朋子 (文化学園大学)	平成27年 ～ 平成31年
災害に対する看護の備え尺度の検証と実用化の施行	内布 敦子	川崎 優子 中野 宏恵 永山 博美	平成24年 ～ 平成27年
「食」を契機とする在宅療養高齢者の生活支援モデルの構築	山本 あい子	上泉 和子 (青森県立保健大学) 大野 かおり 西上 あゆみ (梅花女子大学) 村上 眞須美 (青森県立保健大学) 黒瀧 安紀子	平成27年 ～ 平成30年
災害時のリスク低減に活かす“在宅ケア3ワークモデル”の開発	坂下 玲子	松下 健二 (国立長寿医療研究センター) 新居 学 (兵庫県立大学工学研究科) 大野 かおり 金 外淑 高見 美保	平成27年 ～ 平成29年
	大野 かおり	西上 あゆみ (梅花女子大学) 黒瀧 安紀子 造田 亮子 (名寄市立大学)	平成27年 ～ 平成30年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
呼吸器感染症状に関するセルフモニタリング促進プログラムの検証及び臨床導入への検討	森 菊子		平成24年 } 平成27年
多文化共生社会における外国人高齢者の在宅ケアモデルの構築に関する基礎的研究	李 錦純		平成24年 } 平成27年
過食・ストレスとHDL代謝をつなぐニューロペプチドY受容体の解析	加治 秀介		平成25年 } 平成27年
看護組織における参加的意決定の構造	増野 園恵	藤原 史博	平成26年 } 平成28年
腰骨盤痛を持つ妊婦の個別性に合わせた介入方略の開発と検証	槻木 直子		平成26年 } 平成28年
新たな身体活動の価値を創造する児童期の実生活生体リズムの研究	柴田 真志		平成27年 } 平成29年
繊維筋痛症患者とその家族との生活再構築に向けた在宅における心理教育的支援の強化	金 外淑	松野 俊夫 (日本大学) 村上 正人 (国際医療福祉大学) 住吉 和子 (岡山県立大学) 丸岡 秀一郎 (日本大学) 釋 文雄 (日本大学)	平成27年 } 平成29年
看護系大学における睡眠学教育の実態把握と臨地のニーズ・課題に関する調査	谷田 恵子	岡田 彩子 宮川 幸代	平成27年 } 平成29年
妊婦を対象とした「災害への備え」を促す介入プログラムの効果検証	渡邊 聡子		平成27年 } 平成29年
血友病医療における病院と在宅をつなぐ看護ケアの検証	九津見 雅美	大村 佳代子 (三重県立大学)	平成27年 } 平成31年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
循環器疾患で入院した喫煙患者への看護実践(禁煙支援)能力育成プログラムの開発	岡田 彩子	竹原 歩 奥村 和代 稲垣 美紀 (梅花女子大学)	平成27年 〽 平成29年
がん患者用の共有型看護相談モデルを基盤とした意思決定支援システムの開発	川崎 優子	内布 敦子	平成27年 〽 平成29年
認知症ステージアプローチに基づく看護実践モデルの構築	高見 美保	中筋 美子	平成27年 〽 平成30年
成人期の自閉症スペクトラム障害者に対する看護技術習得のための教育プログラムの開発	川田 美和	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (名古屋大学)	平成27年 〽 平成29年
看護実践並行型の熟達的な地域アセスメントのモデル化と新任中堅保健師向け教材の開発	塩見 美抄	前田 京子 (東京医科大学) 牛尾 裕子	平成27年 〽 平成29年
児童・思春期精神科病棟における看護実践能力向上のための学習システムの構築	船越 明子	宮本 有紀 (東京大学) 角田 秋 (聖路加看護大学) 土田 幸子 (鈴鹿医療科学大学)	平成25年 〽 平成28年
とまらない院内感染は防止できるか？MRSA 撲滅に向けての清掃ガイドライン作成	森本 美智子	田辺 文憲 (山梨大学) 荒川 創一 (神戸大学)	平成25年 〽 平成27年
外来通院中の切迫早産妊婦の早産予防のための症状マネジメント支援	工藤 美子		平成25年 〽 平成27年
災害復興期における住民の健康生活情報の可視化・介入意思決定支援システムの開発	小西 美和子	増野 園恵 信川 創 (福井工業大学)	平成26年 〽 平成27年
PMSの実態と「浮き指」の関連について	赤松 恵美		平成26年 〽 平成28年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
「国際まちの保健室」の開設と運営による在日外国人の「健康促進プログラム」の開発	呉 小玉	山本 あい子 佐藤 文子 (千里金蘭大学) 中田 涼子 (神戸常盤大学) 黒野 利佐子 (神戸常盤大学)	平成25年) 平成27年
後進への育成役割を担う看護師の世代継承性を測定するための尺度開発	藤原 史博		平成27年) 平成28年
看護師を元気にする組織コンサルテーションモデルの開発	内布 敦子	川崎 優子 中野 宏恵 永山 博美	平成27年) 平成28年
公吏の学習歴－任用史料にみる明治日本の地域エリートの実像	池田 雅則		平成25年) 平成28年
糖尿病患者の動脈硬化症による血流障害予防のためのケアモデルの開発	片岡 千明		平成25年) 平成27年
レビー小体型認知症の高齢者への看護指針の作成と妥当性の検証	加藤 泰子		平成25年) 平成28年
安全な出産と快適な育児期を過ごすための妊娠中から取り組む睡眠プログラムの検証	宮川 幸代		平成24年) 平成27年
自然災害時に病院看護管理者が人的外部支援受け入れに至る過程の構造の明確化	黒瀧 安紀子		平成26年) 平成28年
術後精神機能の回復アセスメントツールの開発及びケアモデルの構築	小野 博史		平成26年) 平成28年
患者力を活用した症状戦略データベースの構築とその活用	中野 宏恵		平成27年) 平成28年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
慢性呼吸器疾患を持つ人の生活機能に対する評価尺度の信頼性と妥当性の検討	由雄 緩子		平成27年 ） 平成29年
統合失調症患者の睡眠覚醒リズムによる看護介入プログラムの開発	武内 玲		平成27年 ） 平成29年
循環器医療の医療従事者に対する抑うつ症状に関する教育プログラムの開発・検証	竹原 歩		平成27年 ） 平成28年
独居要介護高齢者の安全に関する訪問時間内外を含めた訪問看護実践についての研究	小枝 美由紀		平成26年 ） 平成27年
妊娠初期の妊婦が自らに合ったつわり軽減方法を見出すための看護援助プログラムの検証	岩國 亜紀子		平成26年 ） 平成27年
中山間地域における訪問看護の連携促進を目指したICTネットワークシステムの構築	山本 大祐		平成27年 ） 平成28年

科学研究費 [平成 28 年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
オレムのセルフケア理論を基盤とした「こどもセルフケア看護理論」の構築	片田 範子	勝田 仁美 添田 啓子 (埼玉県立大学) 加藤 令子 (関西医科大学) 中野 綾美 (高知県立大学) 及川 郁子 (東京家政大学)	平成26年 ～ 平成29年
輸入・振興感染症から医療従事者を守れ！ 臨床現場ガイドライン策定のための防護具 研究	森本 美智子	篠原 克明 (国立感染症研究所) 嶋崎 典子 (国立感染症研究所) 田辺 文憲 (山梨大学) 加藤 伊陽子 (山梨大学) 荒川 創一 (神戸大学) 内田 幸子 (高崎健康福祉大学) 小柴 朋子 (文化学園大学)	平成27年 ～ 平成31年
看護師と医師が協働するケア・キュア融合型 症状マネジメントモデルの開発	内布 敦子	川崎 優子 中野 宏恵 福田 正道 宮下 美香 (広島大学) 秋元 典子 (岡山大学) 松岡 順治 (岡山大学) 木澤 義之 (神戸大学) 荒尾 晴恵 (大阪大学)	平成28年 ～ 平成31年
災害に対する看護の備え尺度の検証と実用 化の施行	山本 あい子	上泉 和子 (青森県立保健大学) 大野 かおり 西上 あゆみ (梅花女子大学) 村上 眞須美 (青森県立保健大学) 千葉 理恵	平成27年 ～ 平成30年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
「食」を契機とする在宅療養高齢者の生活支援モデルの構築	坂下 玲子	松下 健二 (国立長寿医療研究センター) 新居 学 (兵庫県立大学工学研究科) 大野 かおり 金 外淑 高見 美保 佐藤 拓一 (新潟大学) 池原 弘展 (敦賀市立看護大学)	平成27年 ∩ 平成29年
災害時のリスク低減に活かす“在宅ケア3ワークモデル”の開発	大野 かおり	西上 あゆみ (梅花女子大学) 馬場 美智子 (兵庫県立大学防災教育研究センター) 造田 亮子 (名寄市立大学)	平成27年 ∩ 平成30年
児童・思春期精神科病棟における看護実践能力向上のための学習システムの構築	船越 明子	宮本 有紀 (東京大学) 角田 秋 (聖路加看護大学) 土田 幸子 (鈴鹿医療科学大学)	平成25年 ∩ 平成28年
看護組織における参加的意識決定の構造	増野 園恵	藤原 史博	平成26年 ∩ 平成28年
腰骨盤痛を持つ妊婦の個別性に合わせた介入方略の開発と検証	槻木 直子		平成26年 ∩ 平成28年
新たな身体活動の価値を創造する児童期の実生活生体リズムの研究	柴田 真志		平成27年 ∩ 平成29年
繊維筋痛症患者とその家族との生活再構築に向けた在宅における心理教育的支援の強化	金 外淑	松野 俊夫 (日本大学) 村上 正人 (国際医療福祉大学) 丸岡 秀一郎 (日本大学) 釋 文雄 (日本大学) 住吉 和子 (岡山県立大学)	平成27年 ∩ 平成29年
看護系大学における睡眠学教育の実態把握と臨地のニーズ・課題に関する調査	谷田 恵子	岡田 彩子 宮川 幸代	平成27年 ∩ 平成29年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
妊婦を対象とした「災害への備え」を促す介入プログラムの効果検証	渡邊 聡子		平成27年 ～ 平成29年
血友病医療における病院と在宅をつなぐ看護ケアの検証	九津見 雅美	大村 佳代子 (三重県立大学)	平成27年 ～ 平成31年
循環器疾患で入院した喫煙患者への看護実践(禁煙支援)能力育成プログラムの開発	岡田 彩子	稲垣 美紀 (摂南大学) 竹原 歩 奥村 和代	平成27年 ～ 平成29年
がん患者用の共有型看護相談モデルを基盤とした意思決定支援システムの開発	川崎 優子	内布 敦子	平成27年 ～ 平成29年
認知症ステージアプローチに基づく看護実践モデルの構築	高見 美保	中筋 美子	平成27年 ～ 平成30年
成人期の自閉症スペクトラム障害者に対する看護技術習得のための教育プログラムの開発	川田 美和	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (名古屋大学)	平成27年 ～ 平成29年
看護実践並行型の熟達的な地域アセスメントのモデル化と新任中堅保健師向け教材の開発	塩見 美抄	吉岡 京子 (東京医科大学) 牛尾 裕子	平成27年 ～ 平成29年
Y2 受容体発現を指標とする脂質異常症改善栄養素・薬剤の探索	加治 秀介		平成28年 ～ 平成30年
糖尿病患者の抹消動脈患者を予防する「フットケアを通して身体の理解を促すケア」の効果	片岡 千明		平成28年 ～ 平成30年
多文化共生社会における外国人高齢者への包括的な在宅ケア支援モデルの開発	李 錦純		平成28年 ～ 平成30年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
看護学士課程における「コミュニティに焦点を当てた看護」教授－学習モデルの開発	牛尾 裕子	塩見 美抄 嶋澤 順子 (東京慈恵会医科大学) 田村 須賀子 (富山大学)	平成28年) 平成30年
とまらない院内感染は防止できるか？MRSA撲滅に向けての清掃ガイドライン作成	森本 美智子		平成25年) 平成28年
後進への育成役割を担う看護師の世代継承性を測定するための尺度開発	藤原 史博		平成27年) 平成29年
看護師を元気にする組織コンサルテーションモデルの開発	内布 敦子	川崎 優子 中野 宏恵 福田 正道	平成27年) 平成29年
災害安心学の探求	山本 あい子	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 渡邊 美保 (高知県立大学) 増野 園恵 伊藤 ちぢ代	平成28年) 平成29年
若年成人期のがん患者が抱える性や生殖機能の問題解決支援とフォローアップ体制	工藤 美子	丸 光恵 (甲南女子大学) 富岡 晶子 (東京医療保健大学)	平成28年) 平成30年
公吏の学習歴－任用史料にみる明治日本の地域エリートの実像	池田 雅則		平成25年) 平成28年
レビー小体型認知症の高齢者への看護指針の作成と妥当性の検証	加藤 泰子		平成25年) 平成28年
精神疾患をもつ人々を対象とした、ポジティブな心理的変容を促す看護プログラムの開発	千葉 理恵		平成25年) 平成28年
自然災害時に病院看護管理者が人的外部支援受け入れに至る過程の構造の明確化	黒瀧 安紀子		平成26年) 平成28年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
術後精神機能の回復アセスメントツールの開発及びケアモデルの構築	小野 博史		平成26年 ～ 平成28年
患者力を活用した症状戦略データベースの構築とその活用	中野 宏恵		平成27年 ～ 平成28年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
慢性呼吸器疾患を持つ人の生活機能に対する評価尺度の信頼性と妥当性の検討	由雄 緩子		平成27年 ～ 平成29年
統合失調症患者の睡眠覚醒リズムによる看護介入プログラムの開発	武内 玲		平成27年 ～ 平成29年
循環器医療の医療従事者に対する抑うつ症状に関する教育プログラムの開発・検証	竹原 歩		平成27年 ～ 平成28年
急性期病院における看護師と看護補助者の効果的な協働のあり方の検討	奥村 和代		平成28年 ～ 平成30年
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの開発	中筋 美子		平成28年 ～ 平成30年
独居要介護高齢者の安全に関する訪問看護師とヘルパーの教育的連携モデルの基礎的研究	小枝 美由紀		平成28年 ～ 平成29年
中山間地域における訪問看護の連携促進を目指したICTネットワークシステムの構築	山本 大祐		平成27年 ～ 平成28年
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラム構築	能町 しのぶ		平成28年 ～ 平成29年
法の支配と対話の哲学ープラトン対話篇『法律』の研究	丸橋 裕		平成28年

科学研究費 [平成 29 年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
輸入・新興感染症から医療従事者を守れ！臨床現場ガイドライン策定のための防護具研究	森本 美智子	荒川 創一 (神戸大学) 田辺 文憲 (山梨大学) 内田 幸子 (高崎健康福祉大学) 小柴 朋子 (文化学園大学)	平成27年 ～ 平成31年
看護師と医師が協働するケア・キュア融合型症状マネジメントモデルの開発	内布 敦子	川崎 優子 福田 正道 脇口 優希 松岡 順治 (岡山大学) 荒尾 晴恵 (大阪大学) 宮下 美香 (広島大学) 木澤 義之 (神戸大学) 秋元 典子 (甲南女子大学)	平成28年 ～ 平成31年
災害に対する看護の備え尺度の検証と実用化の施行	山本 あい子	大野 かおり 西上 あゆみ (梅花女子大学) 上泉 和子 (青森県立保健大学) 村上 眞須美 (青森県立保健大学) 千葉 理恵	平成27年 ～ 平成30年
「食」を契機とする在宅療養高齢者の生活支援モデルの構築	坂下 玲子	松下 健二 (国立長寿医療研究センター) 新居 学 (兵庫県立大学工学研究科) 大野 かおり 金 外淑 高見 美保 佐藤 拓一 (新潟大学) 池原 弘展 (敦賀市立看護大学)	平成27年 ～ 平成29年
災害時のリスク低減に活かす“在宅ケア3ワークモデル”の開発	大野 かおり	西上 あゆみ (梅花女子大学) 馬場 美智子 (兵庫県立大学減災復興政策研究科) 造田 亮子 (名寄市立大学)	平成27年 ～ 平成30年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
災害リスク管理における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発	増野 園恵	渡邊 智恵 (日本赤十字広島看護大学) 酒井 明子 (福井大学) 漆坂 真弓 (弘前大学) 加藤 令子 (関西医科大学) 山本 あい子	平成28年 } 平成31年
腰骨盤痛を持つ妊婦の個別性に合わせた介入方略の開発と検証	槻木 直子		平成26年 } 平成29年
新たな身体活動の価値を創造する児童期の実生活生体リズムの研究	柴田 真志		平成27年 } 平成29年
繊維筋痛症患者とその家族との生活再構築に向けた在宅における心理教育的支援の強化	金 外淑	松野 俊夫 (日本大学) 村上 正人 (国際医療福祉大学) 丸岡 秀一郎 (日本大学) 釋 文雄 (日本大学) 住吉 和子 (岡山県立大学)	平成27年 } 平成29年
看護系大学における睡眠学教育の実態把握と臨地のニーズ・課題に関する調査	谷田 恵子	岡田 彩子 宮川 幸代	平成27年 } 平成29年
血友病医療における病院と在宅をつなぐ看護ケアの検証	九津見 雅美	大村 佳代子 (三重県立看護大学)	平成27年 } 平成31年
循環器疾患で入院した喫煙患者への看護実践(禁煙支援)能力育成プログラムの開発	岡田 彩子	稲垣 美紀 (摂南大学) 竹原 歩 奥村 和代	平成27年 } 平成29年
がん患者用の共有型看護相談モデルを基盤とした意思決定支援システムの開発	川崎 優子	内布 敦子 脇口 優希	平成27年 } 平成29年
認知症ステージアプローチに基づく看護実践モデルの構築	高見 美保	中筋 美子 茅野 幸絵	平成27年 } 平成30年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
成人期の自閉症スペクトラム障害者に対する看護技術習得のための教育プログラムの開発	川田 美和	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (名古屋大学)	平成27年) 平成29年
看護実践並行型の熟達的な地域アセスメントのモデル化と新任中堅保健師向け教材の開発	塩見 美抄	吉岡 京子 (東京医科大学) 牛尾 裕子	平成27年) 平成29年
Y2 受容体発現を指標とする脂質異常症改善栄養素・薬剤の探索	加治 秀介		平成28年) 平成30年
中小規模病院の中堅看護師への職務満足を促すAIに基づく教育プログラムの開発	撫養 真紀子	青山 ヒフミ (甲南女子大学) 勝山 貴美子 (横浜市立大学) 北居 明 (甲南大学) 志田 京子 (大阪府立大学)	平成28年) 平成30年
糖尿病患者の末梢動脈疾患を予防する「フットケアを通して身体の理解を促すケア」の効果	片岡 千明		平成28年) 平成30年
助産モデルで開発した分娩進行を診断するアセスメント・ツールの妥当性の検証	渡邊 竹美		平成28年) 平成31年
多文化共生社会における外国人高齢者への包括的な在宅ケア支援モデルの開発	李 錦純		平成28年) 平成30年
看護学士課程における「コミュニティに焦点を当てた看護」教授－学習モデルの開発	牛尾 裕子	塩見 美抄 嶋澤 順子 (東京慈恵会医科大学) 田村 須賀子 (富山大学)	平成28年) 平成30年
階層差からみる環境美学のダイナミズム－英ロマン派と明治・大正日本の歩行文学比較	大田垣 裕子		平成29年) 平成31年
「履歴資料」に基づく近代日本におけるサブエリートの学習歴とキャリア形成の解明	池田 雅則	山下 廉太郎 (朝日大学)	平成29年) 平成31年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	小西 美和子	増野 園恵 藤原 史博 畠中 易子 徳原 典子	平成29年 〽 平成32年
慢性閉塞性肺疾患患者の憎悪予防のためのセルフマネジメント促進プログラムの開発	森 菊子	李 錦純	平成29年 〽 平成31年
産後うつ予防のための妊娠中から産後までの睡眠支援プログラムの開発	宮川 幸代	櫻井 進 (天理医療大学) 谷田 恵子	平成29年 〽 平成31年
児童・思春期精神科病棟における地域包括ケアの視点を取り入れた教育プログラムの開発	船越 明子	宮本 有紀 (東京大学) 土谷 朋子 (文京学院大学) 斎藤 まさ子 (新潟青陵大学) 浦野 茂 (三重県立看護大学)	平成29年 〽 平成32年
性暴力被害者に対する急性期看護ケアに関する教育プログラムの開発と検証	福本 環		平成29年 〽 平成31年
後進への育成役割を担う看護師の世代継承性を測定するための尺度開発	藤原 史博		平成27年 〽 平成29年
看護師を元気にする組織コンサルテーションモデルの開発	内布 敦子	川崎 優子 福田 正道 脇口 優希	平成27年 〽 平成29年
災害安心学の探求	山本 あい子	野嶋 佐由美 (高知県立大学) 増野 園恵 伊藤 ちぢ代 渡邊 美保 (高知県立大学)	平成28年 〽 平成29年
若年成人期のがん患者が抱える性や生殖機能の問題解決支援とフォローアップ体制	工藤 美子	丸 光恵 (甲南女子大学) 富岡 晶子 (東京医療保健大学)	平成28年 〽 平成30年
慢性呼吸器疾患を持つ人の生活機能に対する評価尺度の信頼性と妥当性の検討	由雄 緩子		平成27年 〽 平成29年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
統合失調症患者の睡眠覚醒リズムによる看護介入プログラムの開発	武内 玲		平成27年 ～ 平成29年
急性期病院における看護師と看護補助者の効果的な協働のあり方の検討	奥村 和代		平成28年 ～ 平成30年
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの開発	中筋 美子		平成28年 ～ 平成30年
生体肝移植後の思春期のこどものセルフケア能力拡大のための看護実践ガイドライン開発	武内 紗千		平成29年 ～ 平成31年
認知症家族支援を推進する効果的な訪問看護とレスパイトケア施設間連携の検討	高橋 美沙子		平成29年 ～ 平成31年
精神疾患をもつ人々のポジティブな心理的変容は促進されるか;無作為化比較試験	千葉 理恵		平成29年 ～ 平成30年
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラム構築	能町 しのぶ		平成28年 ～ 平成29年
在日ビルマ難民の主観的健康を高めうる難民コミュニティのエスノグラフィ	竹村 和子		平成29年 ～ 平成30年

科学研究費 [平成 30 年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
輸入・新興感染症から医療従事者を守れ！臨床現場ガイドライン策定のための防護具研究	森本 美智子	荒川 創一 (神戸大学) 小柴 朋子 (文化学園大学) 田辺 文憲 (山梨大学) 内田 幸子 (高崎健康福祉大学)	平成27年 ┆ 平成31年
看護師と医師が協働するケア・キュア融合型症状マネジメントモデルの開発	内布 敦子	脇口 優希 川崎 優子 福田 正道 松岡 順治 (岡山大学) 荒尾 晴恵 (大阪大学) 宮下 美香 (広島大学) 木澤 義之 (神戸大学) 秋元 典子 (甲南女子大学)	平成28年 ┆ 平成31年
災害時のリスク低減に活かす“在宅ケア3ワークモデル”の開発	大野 かおり	馬場 美智子 高橋 芙沙子 西内 陽子 西上 あゆみ (藍野大学) 造田 亮子 (青森中央学院大学)	平成28年 ┆ 平成30年
看多機で活躍する看護職のコンピテンシーの明確化とケアの質評価システムの構築	坂下 玲子	撫養 真紀子 新居 学 小野 博史 眞鍋 雅史 (嘉悦大学) 芳賀 邦子 (秋田看護福祉大学)	平成30年 ┆ 平成33年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
AI支援型がん患者の意思決定構造解析を基盤とした情報提供システムの開発	川崎 優子	内布 敦子 新居 学 木澤 義之 (神戸大学) 平井 啓 (大阪大学)	平成30年 } 平成33年
継続的地域アセスメントモデルを用いた保健師の実践改善プログラムの構築	塩見 美抄	吉岡 京子 (国立保健医療科学院)	平成30年 } 平成32年
在日ビルマ難民の主観的健康を高めうる難民コミュニティのエスノグラフィ	竹村 和子		平成29年 } 平成30年
看護系大学における睡眠学教育の実態把握と臨地のニーズ・課題に関する調査	谷田 恵子	岡田 彩子 宮川 幸代	平成27年 } 平成30年
循環器疾患で入院した喫煙患者への看護実践(禁煙支援)能力育成プログラムの開発	岡田 彩子	稲垣 美紀 (摂南大学) 竹原 歩 奥村 和代	平成27年 } 平成30年
認知症ステージアプローチに基づく看護実践モデルの構築	高見 美保	中筋 美子 茅野 幸絵	平成27年 } 平成30年
中小規模病院の中堅看護師への職務満足を促すAIに基づく教育プログラムの開発	撫養 真紀子	青山 ヒフミ (甲南女子大学) 勝山 貴美子 (横浜市立大学) 北居 明 (甲南大学) 志田 京子 (大阪府立大学)	平成28年 } 平成30年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
糖尿病患者の末梢動脈疾患を予防する「フットケアを通して身体を理解を促すケア」の効果	片岡 千明		平成28年 } 平成30年
助産モデルで開発した分娩進行を診断するアセスメント・ツールの妥当性の検証	渡邊 竹美		平成28年 } 平成31年
看護学士課程における「コミュニティに焦点を当てた看護」教授－学習モデルの開発	牛尾 裕子	塩見 美抄 嶋澤 順子 (東京慈恵会医科大学) 田村 須賀子 (富山大学)	平成28年 } 平成30年
階層差からみる環境美学のダイナミズム－英ロマン派と明治・大正日本の歩行文学比較	大田垣 裕子		平成29年 } 平成31年
「履歴資料」に基づく近代日本におけるサブエリートの学習歴とキャリア形成の解明	池田 雅則	山下 廉太郎 (朝日大学)	平成29年 } 平成31年
看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	小西 美和子	増野 園恵 藤原 史博 (関西医科大学) 畠中 易子 徳原 典子	平成29年 } 平成32年
性暴力被害者に対する急性期看護ケアに関する教育プログラムの開発と検証	福本 環		平成29年 } 平成31年
慢性閉塞性肺疾患患者の憎悪予防のためのセルフマネジメント促進プログラムの開発	森 菊子	李 錦純 (関西医科大学)	平成29年 } 平成31年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
産後うつ予防のための妊娠中から産後までの睡眠支援プログラムの開発	宮川 幸代	櫻井 進 (東京工科大学) 谷田 恵子 中田 光紀 (国際医療福祉大学)	平成29年 } 平成31年
児童・思春期精神科病棟における地域包括ケアの視点を取り入れた教育プログラムの開発	船越 明子	宮本 有紀 (東京大学) 土谷 朋子 (文京学院大学) 斎藤 まさ子 (新潟青陵大学) 浦野 茂 (三重県立看護大学)	平成29年 } 平成32年
情報処理能力の回復を視点とした精神機能のモニタリング指標の開発	小野 博史	竹原 歩	平成30年 } 平成32年
自閉症スペクトラム障害をもつ人のための「未来語りのダイアログ」実践モデルの開発	川田 美和	坂下 玲子 野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (名古屋大学)	平成30年 } 平成33年
外来通院する早産ハイリスク妊婦の早産予防のためのセルフケア能力査定質問紙の開発	岡邑 和子	工藤 美子 能町 しのぶ	平成30年 } 平成32年
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラムの有効性の検証	能町 しのぶ	渡邊 浩子 (大阪大学) 岡邑 和子 濱田 洋実 (筑波大学)	平成28年 } 平成30年
大学生の社会的時差が睡眠覚醒周期に及ぼす影響とそれに対する運動介入効果の検証	柴田 真志		平成30年 } 平成32年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
若年成人期のがん患者が抱える性や生殖機能の問題解決支援とフォローアップ体制	工藤 美子	丸 光恵 (甲南女子大学) 富岡 晶子 (東京医療保健大学)	平成28年 ┆ 平成30年
急性期病院における看護師と看護補助者の効果的な協働のあり方の検討	奥村 和代		平成28年 ┆ 平成30年
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの開発	中筋 美子		平成28年 ┆ 平成30年
生体肝移植後の思春期のこどものセルフケア能力拡大のための看護実践ガイドライン開発	武内 紗千		平成29年 ┆ 平成31年
認知症家族支援を推進する効果的な訪問看護とレスパイトケア施設間連携の検討	高橋 芙沙子		平成29年 ┆ 平成31年
造血細胞移植中の食事摂取困難を緩和する患者参加型看護ケアプログラムの開発	脇口 優希		平成30年 ┆ 平成33年
慢性期統合失調症入院患者の活動に焦点を当てた睡眠ケアシステムの構築	武内 玲		平成30年 ┆ 平成32年
医師との連携により訪問看護師の役割拡大を図る訪問看護指示書の評価研究	大村 佳代子		平成30年 ┆ 平成33年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
災害リスク管理における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発	増野 園恵	渡邊 智恵 (日本赤十字広島看護大学) 酒井 明子 (福井大学) 漆坂 真弓 (弘前大学) 加藤 令子 (関西医科大学) 山本 あい子 (四天王寺大学)	平成28年 ┆ 平成31年
慢性呼吸器疾患を持つ人の生活機能に対する評価尺度の信頼性と妥当性の検討	由雄 緩子		平成27年 ┆ 平成30年
救急領域における看護ケアの定量的指標構築および経済的効率性を含めた定量的評価研究	佐々木 美絵		平成30年 ┆ 平成33年
早発初潮の社会的因果統合モデルの構築:ウィメンズヘルスの提言に向けた日英比較研究	梅田 麻希		平成30年 ┆ 平成32年

科学研究費 [令和元年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
看護師と医師が協働するケア・キュア融合型症状マネジメントモデルの開発	内布 敦子	脇口 優希 川崎 優子 福田 正道 松岡 順治 (岡山大学) 荒尾 晴恵 (大阪大学) 宮下 美香 (広島大学) 木澤 義之 (神戸大学) 秋元 典子 (甲南女子大学)	平成28年 ～ 令和 元年
看多機で活躍する看護職のコンピテンシーの明確化とケアの質評価システムの構築	坂下 玲子	撫養 真紀子 新居 学 小野 博史 栗村 健司 渡邊 里香 濱上 亜希子 眞鍋 雅史 (嘉悦大学) 芳賀 邦子 (秋田看護福祉大学)	平成30年 ～ 令和 3年
メンタルヘルスに問題を抱える妊婦の外来看護ケアと多職種地域連携モデルの構築	工藤 美子	渡邊 竹美 玉木 敦子 (神戸女子大学) 清野 仁美 (兵庫医科大学)	令和元年 ～ 令和 5年
集住での豊かな看取りを可能にする包括的ケアマネジメントモデルの開発	大野 かおり	大村 佳代子 西内 陽子 金 外淑 大塚 毅彦 (明石工業高等専門学校) 山川 正信 (宝塚大学) 高橋 芙紗子 (関西医科大学) 山本 大祐 (関西医科大学)	令和 元年 ～ 令和 4年
AI 支援型がん患者の意思決定構造解析を基盤とした情報提供システムの開発	川崎 優子	内布 敦子 新居 学 木澤 義之 (神戸大学) 平井 啓 (大阪大学)	平成30年 ～ 令和 3年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
継続的地域アセスメントモデルを用いた保健師の実践改善プログラムの構築	塩見 美抄	吉岡 京子 (国立保健医療科学院)	平成30年) 令和 2年
慢性疾患をもつ子どもを含む家族の役割移行を支える多職種協働プログラムの開発	本田 順子	勝田 仁美 山口 未久 (京都府立医科大学) 栗野 宏之 (神戸大学) 宮脇 郁子 (神戸大学)	令和 元年) 令和 4年
在日ビルマ難民の主観的健康を高めうる難民コミュニティのエスノグラフィ	竹村 和子		平成29年) 平成30年 (令和元年度 まで延長)
中小規模病院で働く中堅看護師のワーク・エンゲイジメントを高める支援モデルの構築	撫養 真紀子	青山 ヒフミ (甲南女子大学) 勝山 貴美子 (横浜市立大学) 北居 明 (甲南大学)	令和 元年) 令和 4年
助産モデルで開発した分娩進行を診断するアセスメント・ツールの妥当性の検証	渡邊 竹美		平成28年) 令和 元年
看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	小西 美和子	増野 園恵 岡田 典子 畠中 易子 藤原 史博 (関西医科大学) 神田 知咲 (関西医科大学)	平成29年) 令和 2年
慢性閉塞性肺疾患患者の憎悪予防のためのセルフマネジメント促進プログラムの開発	森 菊子	李 錦純 (関西医科大学)	平成29年) 令和 元年
階層差からみる環境美学のダイナミズムー英ロマン派と明治・大正日本の歩行文学比較	大田垣 裕子		平成29年) 令和 元年
「履歴資料」に基づく近代日本におけるサブエリートの学習歴とキャリア形成の解明	池田 雅則	山下 廉太郎 (朝日大学)	平成29年) 令和 元年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
大学生の社会的時差が睡眠覚醒周期に及ぼす影響とそれに対する運動介入効果の検証	柴田 真志		平成30年 ） 令和 2年
自閉症スペクトラム障害をもつ人のための「未来語りのダイアログ」実践モデルの開発	川田 美和	坂下 玲子 野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (名古屋大学)	平成30年 ） 令和 3年
外来通院する早産ハイリスク妊婦の早産予防のためのセルフケア能力査定質問紙の開発	岡邑 和子	工藤 美子 能町 しのぶ	平成30年 ） 令和 2年
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラムの有効性の検証	能町 しのぶ	岡邑 和子 渡邊 浩子 (大阪大学) 濱田 洋実 (筑波大学)	平成30年 ） 令和 2年
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの発展	中筋 美子	高見 美保	令和 元年 ） 令和 4年
情報処理能力の回復を視点とした精神機能のモニタリング指標の開発	小野 博史	竹原 歩 濱上 亜希子	平成30年 ） 令和 2年
性暴力被害者に対する急性期看護ケアに関する教育プログラムの開発と検証	福本 環		平成29年 ） 令和 元年
がんゲノム医療:Precision Nursing Care Program 開発	川崎 優子	内布 敦子 田村 和郎 (近畿大学) 須藤 保 (神戸大学)	令和 元年 ） 令和 3年
生体肝移植後の思春期のこどものセルフケア能力拡大のための看護実践ガイドライン開発	武内 紗千		平成29年 ） 令和 元年
医師との連携により訪問看護師の役割拡大を図る訪問看護指示書の評価研究	大村 佳代子		平成30年 ） 令和 3年
造血細胞移植中の食事摂取困難を緩和する患者参加型看護ケアプログラムの開発	脇口 優希		平成30年 ） 令和 3年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
慢性期統合失調症入院患者の活動に焦点を当てた睡眠ケアシステムの構築	武内 玲		平成30年) 令和 2年
非正規雇用形態で働く育児期の看護師のキャリア形成支援システムの検討	渡邊 里香		令和 元年) 令和 3年
摂食嚥下障害を抱える脳血管障害患者の摂食嚥下リハビリ体験の状況特定理論の構築	栗村 健司		令和 元年) 令和 3年
骨転移患者の骨折予防を支援するPatient Centered Program の開発	福田 正道		令和 元年) 令和 3年
産科外来における妊娠糖尿病妊婦の看護支援モデル構築のための基礎的研究	川村 麻由香		令和 元年) 令和 3年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
災害リスク管理における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発	増野 園恵	渡邊 智恵 (日本赤十字広島看護大学) 酒井 明子 (福井大学) 漆坂 真弓 (弘前大学) 加藤 令子 (関西医科大学) 山本 あい子 (四天王寺大学)	平成28年 } 令和元年
介護予防へのモチベーション向上を目指した自立セルフモニタリングシステムの有用性	林 知里		平成30年 } 令和2年
早発初潮の社会的因果統合モデルの構築：ウィメンズヘルスの提言に向けた日英比較研究	梅田 麻希		平成30年 } 令和2年

科学研究費 [令和2年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
看多機で活躍する看護職のコンピテンシーの明確化とケアの質評価システムの構築	坂下 玲子	撫養 真紀子 新居 学 小野 博史 粟村 健司 渡邊 里香 中西 永子 河野 孝典 眞鍋 雅史 (嘉悦大学) 芳賀 邦子 (秋田看護福祉大学)	平成30年) 令和 3年
メンタルヘルスに問題を抱える妊婦の外来看護ケアと多職種地域連携モデルの構築	工藤 美子	梅田 麻希 渡邊 竹美 (山梨大学) 玉木 敦子 (神戸女子大学) 清野 仁美 (兵庫医科大学)	令和元年) 令和 5年
集住での豊かな看取りを可能にする包括的ケアマネジメントモデルの開発	大野 かおり	大村 佳代子 西内 陽子 金 外淑 安田 温子 大塚 毅彦 (明石工業高等専門学校) 山川 正信 (びわこリハビリテーション専門職大学) 高橋 芙紗子 (関西医科大学) 山本 大祐 (関西医科大学)	令和 元年) 令和 4年
AI 支援型がん患者の意思決定構造解析を基盤とした情報提供システムの開発	川崎 優子	内布 敦子 新居 学 清原 花 木澤 義之 (神戸大学) 平井 啓 (大阪大学)	平成30年) 令和 3年
慢性疾患をもつ子どもを含む家族の役割移行を支える多職種協働プログラムの開発	本田 順子	勝田 仁美 山口 智子 山口 未久 (京都府立医科大学) 栗野 宏之 (神戸大学) 宮脇 郁子 (神戸大学) 福井 美苗 (武庫川女子大学)	令和 元年) 令和 4年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレント・トレーニングの開発	古川 恵美	石崎 優子 (関西医科大学) 信迫 悟志 (畿央大学) 中村 恵 (畿央大学) 鱒坂 誠之 (大阪府立大学工業高等専門学校) 岩坂 英巳 (奈良県立医科大学) 池田 友美 (摂南大学) 福地 成 (東北大学) 柘植 雅義 (筑波大学) 能智 正博 (東京大学)	令和 元年) 令和 4年
中小規模病院で働く中堅看護師のワーク・エンゲイジメントを高める支援モデルの構築	撫養 真紀子	青山 ヒフミ (甲南女子大学) 勝山 貴美子 (横浜市立大学) 北居 明 (甲南大学)	令和 元年) 令和 4年
看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	小西 美和子	増野 園恵 畠中 易子 山岡 千鶴 藤原 史博 (関西医科大学) 神田 知咲 (関西医科大学)	平成29年) 令和 2年
「履歴資料」に基づく近代日本におけるサブエリートの学習歴とキャリア形成の解明	池田 雅則	山下 廉太郎 (朝日大学)	平成29年) 令和 元年(令和2年度まで延長)
大学生の社会的時差が睡眠覚醒周期に及ぼす影響とそれに対する運動介入効果の検証	柴田 真志		平成30年) 令和 2年
自閉症スペクトラム障害をもつ人のための「未来語りのダイアログ」実践モデルの開発	川田 美和	坂下 玲子 野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (国立精神・神経医療研究センター)	平成30年) 令和 3年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
外来通院する早産ハイリスク妊婦の早産予防のためのセルフケア能力査定質問紙の開発	岡邑 和子	工藤 美子 能町 しのぶ	平成30年) 令和 2年
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラムの有効性の検証	能町 しのぶ	岡邑 和子 渡邊 浩子 (大阪大学) 濱田 洋実 (筑波大学)	平成30年) 令和 2年
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの発展	中筋 美子	高見 美保	令和 元年) 令和 4年
情報処理能力の回復を視点とした精神機能のモニタリング指標の開発	小野 博史	竹原 歩 濱上 亜希子 河野 孝典	平成30年) 令和 2年
性暴力被害者に対する急性期看護ケアに関する教育プログラムの開発と検証	福本 環		平成29年) 令和 元年(令和 2年度まで延長)
被害直後の性暴力被害女性に対する看護ケア実践能力測定尺度の開発	福本 環		令和 2年) 令和 4年
がんゲノム医療: Precision Nursing Care Program 開発	川崎 優子	内布 敦子 田村 和朗 (近畿大学) 須藤 保 (神戸大学)	令和 元年) 令和 3年
生体肝移植後の思春期のこどものセルフケア能力拡大のための看護実践ガイドライン開発	武内 紗千		平成29年) 令和 元年(令和 2年度まで延長)
医師との連携により訪問看護師の役割拡大を図る訪問看護指示書の評価研究	大村 佳代子		平成30年) 令和 3年
造血細胞移植中の食事摂取困難を緩和する患者参加型看護ケアプログラムの開発	脇口 優希		平成30年) 令和 3年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
慢性期統合失調症入院患者の活動に焦点を当てた睡眠ケアシステムの構築	武内 玲		平成30年 ） 令和 2年
非正規雇用形態で働く育児期の看護師のキャリア形成支援システムの検討	渡邊 里香		令和 元年 ） 令和 3年
摂食嚥下障害を抱える脳血管障害患者の摂食嚥下リハビリ体験の状況特定理論の構築	粟村 健司		令和 元年 ） 令和 3年
産科外来における妊娠糖尿病妊婦の看護支援モデル構築のための基礎的研究	川村 麻由香		令和 元年 ） 令和 3年
浪漫主義時代以降の牧歌の環境美学の位相一階層差から読む欧日「牛飼いの歌」比較	大田垣 裕子		令和 2年 ） 令和 5年
在日外国人のための地域・臨床看護場面におけるやさしい日本語対話集の開発	竹村 和子	梅田 麻希 西内 陽子	令和 2年 ） 令和 4年
地域包括ケア時代に向けた急性期病院のせん妄患者の回復を支援する看護ケアモデル構築	竹原 歩	小野 博史	令和 2年 ） 令和 4年
優れた看護実践を導く看護情報の明確化と電子カルテ看護情報提供システムの構築	中西 永子	坂下 玲子 小野 博史 新居 学	令和 2年 ） 令和 5年
現象学的方法による観光の倫理的問題の明確化—観光倫理学の構築にむけて	紀平 知樹		平成29年 ） 令和 元年(令和 2年度まで延長)
看護実践過程の構造に基づく習熟度に合わせた人工呼吸器ケア教育支援モデルの開発	築田 誠	本田 順子 茅野 友宣 伊東 由康 宮脇 郁子(神戸大学) 福田 敦子(神戸大学) 正垣 淳子(神戸大学)	平成30年 ） 令和 3年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
Dyspnea-12 日本語版の作成と信頼性・妥当性の検証	角甲 純	小林 成光 (防衛医科大学校) 大園 康文 (防衛医科大学校) 北得 美佐子 (東京医療保健大学) 梶原 弘平 (日本赤十字九州国際看護 大学) 木村 安貴 (名桜大学)	平成30年 } 令和 2年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
災害リスク管理における人々の生活と健康に関連するアウトカム指標の開発	増野 園恵	渡邊 智恵 (日本赤十字広島看護大学) 酒井 明子 (福井大学) 漆坂 真弓 (弘前大学) 加藤 令子 (関西医科大学) 山本 あい子 (四天王寺大学)	平成28年 } 令和 元年(令和 2年度まで延長)
大規模災害被災地域における持続可能な地域ケア体制の再構築戦略	増野 園恵	澤田 雅浩 林 知里 勝沼 志保里 (宮城大学) 藤井 愛海 (日本赤十字豊田看護大学) 尾島 俊之 (浜松医科大学) 松尾 香織 (武庫川女子大学)	令和 2年 } 令和 5年
介護予防へのモチベーション向上を目指した自立セルフモニタリングシステムの有用性	林 知里		平成30年 } 令和 2年
早発初潮の社会的因果統合モデルの構築:ウイメンズヘルスの提言に向けた日英比較研究	梅田 麻希		平成30年 } 令和 2年

科学研究費 [令和3年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
看多機で活躍する看護職のコンピテンシーの明確化とケアの質評価システムの構築	坂下 玲子	撫養 真紀子 新居 学 小野 博史 粟村 健司 渡邊 里香 中西 永子 河野 孝典 眞鍋 雅史 (嘉悦大学) 芳賀 邦子 (東京情報大学)	平成30年) 令和 3年
メンタルヘルスに問題を抱える妊婦の外来看護ケアと多職種地域連携モデルの構築	工藤 美子	梅田 麻希 渡邊 竹美 (山梨大学) 玉木 敦子 (神戸女子大学) 清野 仁美 (兵庫医科大学)	令和 元年) 令和 5年
集住での豊かな看取りを可能にする包括的ケアマネジメントモデルの開発	大野 かおり	大村 佳代子 藤本 佳子 安田 温子 大塚 毅彦 (明石工業高等専門学校) 山川 正信 (びわこリハビリテーション専門 職大学) 高橋 芙紗子 (関西医科大学) 山本 大祐 (関西医科大学)	令和 元年) 令和 4年
AI 支援型がん患者の意思決定構造解析を基盤とした情報提供システムの開発	川崎 優子	新居 学 清原 花 内布 敦子 (敦賀市立看護大学) 木澤 義之 (神戸大学) 平井 啓 (大阪大学)	平成30年) 令和 3年
慢性疾患をもつ子どもを含む家族の役割移行を支える多職種協働プログラムの開発	本田 順子	山口 智子 山口 未久 (京都府立医科大学) 栗野 宏之 (神戸大学) 宮脇 郁子 (神戸大学) 福井 美苗 (武庫川女子大学)	令和 元年) 令和 4年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレント・トレーニングの開発	古川 恵美	石崎 優子 (関西医科大学) 信迫 悟志 (畿央大学) 中村 恵 (畿央大学) 鯨坂 誠之 (大阪府立大学工業高等専門学校) 岩坂 英巳 (奈良県立医科大学) 池田 友美 (摂南大学) 福地 成 (東北医科薬科大学) 柘植 雅義 (筑波大学) 能智 正博 (東京大学)	令和 元年) 令和 4年
終末期のがん関連症状に対する看護支援におけるエビデンスの基盤形成の確立	角甲 純	菅野 雄介 (横浜市立大学) 梶原 弘平 (日本赤十字九州国際看護大学) 小林 成光 (防衛医科大学校) 堀 芽久美 (静岡県立大学) 松田 能宜 (近畿中央呼吸器センター) 清水 陽一 (国立がん研究センター中央病院) 鈴木 美穂 (聖路加国際大学) 新野 真理子 (国立がん研究センター)	令和 3年) 令和 6年
中小規模病院で働く中堅看護師のワーク・エンゲイジメントを高める支援モデルの構築	撫養 真紀子	勝山 貴美子 (横浜市立大学) 北居 明 (甲南大学)	令和 元年) 令和 4年
看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	小西 美和子	増野 園恵 畠中 易子 山岡 千鶴 藤原 史博 (関西医科大学) 神田 知咲 (関西医科大学)	平成29年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)

「履歴資料」に基づく近代日本におけるサブエリート学習歴とキャリア形成の解明	池田 雅則	山下 廉太郎 (朝日大学)	平成29年) 令和 元年(令和3年度まで延長)
看護実践の臨床知を言語化する対話的なリフレクション 現職教育プログラムの構築	小野 博史	坂下 玲子 濱上 亜希子 脇口 優希 本田 順子	令和 3年) 令和 5年
自閉症スペクトラム障害をもつ人のための「未来語りのダイアログ」実践モデルの開発	川田 美和	坂下 玲子 野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (国立精神・神経医療研究センター)	平成30年) 令和 3年
外来通院する早産ハイリスク妊婦の早産予防のためのセルフケア能力査定質問紙の開発	岡邑 和子	工藤 美子 能町 しのぶ	平成30年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラムの有効性の検証	能町 しのぶ	岡邑 和子 渡邊 浩子 (大阪大学) 濱田 洋実 (筑波大学)	平成30年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの発展	中筋 美子	高見 美保	令和 元年) 令和 4年
情報処理能力の回復を視点とした精神機能のモニタリング指標の開発	小野 博史	竹原 歩 濱上 亜希子 河野 孝典	平成30年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)
性暴力被害者に対する急性期看護ケアに関する教育プログラムの開発と検証	福本 環		平成29年) 令和 元年(令和3年度まで延長)
被害直後の性暴力被害女性に対する看護ケア実践能力測定尺度の開発	福本 環		令和 2年) 令和 4年

浪漫主義時代以降の牧歌の環境美学の位相一階層差から読む欧日「牛飼いの歌」比較	大田垣 裕子		令和 2年) 令和 5年
在日外国人のための地域・臨床看護場面におけるやさしい日本語対話集の開発	竹村 和子	梅田 麻希	令和 2年) 令和 4年
地域包括ケア時代に向けた急性期病院のせん妄患者の回復を支援する看護ケアモデル構築	竹原 歩	小野 博史	令和 2年) 令和 4年
優れた看護実践を導く看護情報の明確化と電子カルテ看護情報提供システムの構築	中西 永子	坂下 玲子 小野 博史 新居 学	令和 2年) 令和 5年
現象学的方法による観光の倫理的問題の明確化—観光倫理学の構築にむけて	紀平 知樹		平成29年) 令和 元年(令和3年度まで延長)
看護実践過程の構造に基づく習熟度に合わせた人工呼吸器ケア教育支援モデルの開発	築田 誠	本田 順子 伊東 由康 宮脇 郁子 (神戸大学) 福田 敦子 (神戸大学) 正垣 淳子 (神戸大学)	平成30年) 令和 3年
Dyspnea-12 日本語版の作成と信頼性・妥当性の検証	角甲 純	小林 成光 (防衛医科大学校) 大園 康文 (目白大学) 北得 美佐子 (東京医療保健大学) 梶原 弘平 (日本赤十字九州国際看護大学) 木村 安貴 (名桜大学)	平成30年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)
精神障害者と家族、支援者を支えるためのダイアログを用いた参加型実践的研究	西池 絵衣子	坂下 玲子 川田 美和 竹端 寛 末安 民生 (佛教大学)	令和 3年) 令和 5年

統合失調症患者の睡眠の質を高める看護介入プログラムの作成と介入効果検証	武内 玲	柴田 真志 川田 美和	令和 3年) 令和 5年
フットケアを用いて2型糖尿病患者の身体 の理解を促すケアの効果検証	片岡 千明	柴田 真志	令和 3年) 令和 6年
造血幹細胞移植を受けたがん患者のフレイル 看護支援モデルの構築	清原 花	川崎 優子	令和 3年) 令和 6年
流産・死産当事者と協同して作成する当事 者への情報提供支援ツールの開発	遠藤 佑子		令和 3年) 令和 5年
閉経年齢の規定要因の解明および閉経年 齢を考慮した疾患別リスク評価モデルの構 築	上村 浩一	有澤 孝吉 (徳島大学) 釜野 桜子 (徳島大学)	令和 3年) 令和 6年
超高齢社会における認知症ケアモデルの 開発	高見 美保	片岡 千明 小西 美和子 川田 美和 徳田 幸代 島田 なつき	令和 3年) 令和 6年
看護基礎教育から臨床へ救急看護師の自 律性を育む救急看護教育プログラムの構築	大江 理英	杉本 吉恵 (大阪府立大学) 旗持 知恵子 (大阪府立大学) 田中 京子 (大阪府立大学) 北村 愛子 (大阪府立大学) 林田 裕美 (大阪府立大学) 徳岡 良恵 (大阪府立大学) 井上 奈々 (大阪府立大学) 豊島 美樹 (大阪市立総合医療センター)	令和 元年) 令和 4年

“隠れた”特定妊婦・要支援家庭へのシームレスな支援システムへの構築	石井 美由紀	清水 彩 (京都橘大学) 黒瀧 安紀子 (京都橘大学) 下田 優子 (京都橘大学) 高田 哲 (神戸大学) 上野 まき子 (京都橘大学)	令和 元年) 令和 3年
がんゲノム医療: Precision Nursing Care Program 開発	川崎 優子	内布 敦子 (敦賀市立看護大学) 田村 和朗 (近畿大学) 須藤 保 (神戸大学)	令和 元年) 令和 3年
生体肝移植後の思春期のこどものセルフケア能力拡大のための看護実践ガイドライン開発	武内 紗千		平成29年) 令和 元年(令和3年度まで延長)
医師との連携により訪問看護師の役割拡大を図る訪問看護指示書の評価研究	大村 佳代子		平成30年) 令和 3年
造血細胞移植中の食事摂取困難を緩和する患者参加型看護ケアプログラムの開発	脇口 優希		平成30年) 令和 3年
非正規雇用形態で働く育児期の看護師のキャリア形成支援システムの検討	渡邊 里香		令和 元年) 令和 3年
摂食嚥下障害を抱える脳血管障害患者の摂食嚥下リハビリ体験の状況特定理論の構築	栗村 健司		令和 元年) 令和 3年
産科外来における妊娠糖尿病妊婦の看護支援モデル構築のための基礎的研究	川村 麻由香		令和 元年) 令和 4年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
大規模災害被災地域における持続可能な地域ケア体制の再構築戦略	増野 園恵	澤田 雅浩 林 知里 勝沼 志保里 (宮城大学) 藤井 愛海 (日本赤十字豊田看護大学) 尾島 俊之 (浜松医科大学) 松尾 香織 (武庫川女子大学)	令和 2年) 令和 5年
里親家庭を対象とした健康支援プログラムの開発:地域連携体制の構築に向けた検討	梅田 麻希	増野 園恵 古川 恵美 林 知里 井上 靖子 石崎 優子 (関西医科大学) 福地 成 (東北医科薬科大学)	令和 3年) 令和 6年
壮年期からの健康セルフモニタリング能力を高める地域・職域包括ケアシステムの構築	林 知里	増野 園恵 梅田 麻希 豊田 宏光 (大阪市立大学) 岡野 匡志 (大阪市立大学) 種村 菜奈枝 (医薬基盤・健康・栄養研究所・ 国立健康・栄養研究所) 尾形 宗士郎 (国立循環器病研究センター)	令和 3年) 令和 7年
介護予防へのモチベーション向上を目指した自立セルフモニタリングシステムの有用性	林 知里		平成30年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)
早発初潮の社会的因果統合モデルの構築:ウィメンズヘルスの提言に向けた日英比較研究	梅田 麻希		平成30年) 令和 2年 (令和3年度まで延長)

科学研究費 [令和4年度]

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
看多機で活躍する看護職のコンピテンシーの明確化とケアの質評価システムの構築	坂下 玲子	撫養 真紀子 新居 学 小野 博史 栗村 健司 渡邊 里香 中西 永子 河野 孝典 眞鍋 雅史 (嘉悦大学) 芳賀 邦子 (東京情報大学)	平成30年) 令和 3年 (令和4年度 繰越)
メンタルヘルスに問題を抱える妊婦の外来看護ケアと多職種地域連携モデルの構築	工藤 美子	梅田 麻希 渡邊 竹美 (山梨大学) 玉木 敦子 (神戸女子大学) 清野 仁美 (兵庫医科大学)	令和 元年) 令和 5年
集住での豊かな看取りを可能にする包括的ケアマネジメントモデルの開発	大野 かおり	大村 佳代子 藤本 佳子 安田 温子 大塚 毅彦 (明石工業高等専門学校) 山川 正信 (びわこリハビリテーション専門職大学) 高橋 芙紗子 (関西医科大学) 山本 大祐 (関西医科大学)	令和 元年) 令和 4年
AI支援型がん患者の意思決定構造解析を基盤とした情報提供システムの開発	川崎 優子	新居 学 清原 花 内布 敦子 (敦賀市立看護大学) 木澤 義之 (筑波大学) 平井 啓 (大阪大学)	平成30年) 令和 3年 (令和4年度 繰越)
慢性疾患をもつ子どもを含む家族の役割移行を支える多職種協働プログラムの開発	本田 順子	山口 未久 (京都府立医科大学) 栗野 宏之 (神戸大学) 宮脇 郁子 (神戸大学) 福井 美苗 (武庫川女子大学)	令和 元年) 令和 4年

テーマ	研究代表者	共同研究者	期間
発達障害のある子どもの里親・養親を対象としたペアレント・トレーニングの開発	古川 恵美	石崎 優子 (関西医科大学) 信迫 悟志 (畿央大学) 中村 恵 (畿央大学) 鱒坂 誠之 (大阪公立大学工業高等専門学校) 池田 友美 (摂南大学) 福地 成 (東北医科薬科大学) 柘植 雅義 (筑波大学) 能智 正博 (東京大学)	令和 元年) 令和 4年
終末期のがん関連症状に対する看護支援におけるエビデンスの基盤形成の確立	角甲 純	菅野 雄介 (東京医科歯科大学) 梶原 弘平 (日本赤十字九州国際看護大学) 小林 成光 (聖路加国際大学) 堀 芽久美 (静岡県立大学) 松田 能宜 (近畿中央呼吸器センター) 清水 陽一 (国立看護大学校) 鈴木 美穂 (慶應義塾大学) 新野 真理子 (国立がん研究センター) 中野 貴美子 (徳島大学) 島津 太一 (国立がん研究センター)	令和 3年) 令和 6年
災害時の安心創造に向けたケア方略の構築	山本 あい子	神原 咲子 (神戸市看護大学) 渡邊 聡子 (高知県立大学) 吉田 俊子 (聖路加国際大学) 田中 加苗 (聖路加国際大学)	令和 3年) 令和 5年

慢性呼吸器疾患患者における息切れマネジメント力を高める看護ケアの構築	森 菊子	河田 照絵 (日本赤十字看護大学) 毛利 貴子 (京都府立医科大学) 上原 喜美子 (新潟青陵大学) 森本 美智子 (岡山大学) 池田 由紀 (岐阜協立大学)	令和 4年) 令和 7年
AI 支援型がん患者の意思決定支援プラットフォーム開発	川崎 優子	新居 学 清原 花 西岡 英菜 内布 敦子 (敦賀市立看護大学) 平井 啓 (大阪大学) 木澤 義之 (筑波大学)	令和 4年) 令和 8年
糖尿病重症化予防のための AI 支援型「人々を惹きつける」特定保健指導システムの開発	坂下 玲子	笹嶋 宗彦 森本 雅和 新居 学 川田 美和 小野 博史 片岡 千明 西池 絵衣子 濱上 亜希子 中西 永子 河野 孝典 眞鍋 雅史 (嘉悦大学) 塩見 美抄 (京都大学) 加治 秀介 (神戸女子大学)	令和 4年) 令和 6年
中小規模病院で働く中堅看護師のワーク・エンゲイジメントを高める支援モデルの構築	撫養 真紀子	勝山 貴美子 (横浜市立大学) 北居 明 (甲南大学)	令和 元年) 令和 4年
看護師の在宅療養支援を円滑にするための「患者の生活を見通す」能力開発モデルの構築	小西 美和子	増野 園恵 畠中 易子 山岡 千鶴 神田 知咲 藤原 史博 (関西医科大学)	平成29年) 令和 2年 (令和4年度まで延長)
「履歴資料」に基づく近代日本におけるサブエリートの学習歴とキャリア形成の解明	池田 雅則	山下 廉太郎 (朝日大学)	平成29年) 令和 元年(令和4年度まで延長)
看護実践の臨床知を言語化する対話的なリフレクション現任教育プログラムの構築	小野 博史	坂下 玲子 濱上 亜希子 本田 順子	令和 3年) 令和 5年

自閉症スペクトラム障害をもつ人のための「未来語りのダイアログ」実践モデルの開発	川田 美和	坂下 玲子 野嶋 佐由美 (高知県立大学) 岡田 俊 (国立精神・神経医療研究センター)	平成30年) 令和 3年 (令和4年度まで延長)
外来通院する早産ハイリスク妊婦の早産予防のためのセルフケア能力査定質問紙の開発	岡邑 和子	工藤 美子 能町 しのぶ	平成30年) 令和 2年 (令和4年度まで延長)
妊娠糖尿病妊婦の糖尿病療養行動を支える看護支援プログラムの有効性の検証	能町 しのぶ	岡邑 和子 渡邊 浩子 (大阪大学) 濱田 洋実 (筑波大学)	平成30年) 令和 2年 (令和4年度まで延長)
認知症看護実践力向上のための教育・相談援助プログラムの発展	中筋 美子	高見 美保	令和 元年) 令和 4年
情報処理能力の回復を視点とした精神機能のモニタリング指標の開発	小野 博史	竹原 歩 濱上 亜希子 河野 孝典	平成30年) 令和 2年 (令和4年度まで延長)
被害直後の性暴力被害女性に対する看護ケア実践能力測定尺度の開発	福本 環		令和 2年) 令和 4年
浪漫主義時代以降の牧歌の環境美学の位相一階層差から読む欧日「牛飼いの歌」比較	大田垣 裕子		令和 2年) 令和 5年
在日外国人のための地域・臨床看護場面におけるやさしい日本語対話集の開発	竹村 和子	梅田 麻希	令和 2年) 令和 4年
地域包括ケア時代に向けた急性期病院のせん妄患者の回復を支援する看護ケアモデル構築	竹原 歩	小野 博史	令和 2年) 令和 4年
優れた看護実践を導く看護情報の明確化と電子カルテ看護情報提供システムの構築	中西 永子	坂下 玲子 小野 博史 新居 学	令和 2年) 令和 5年

現象学的方法による観光の倫理的問題の明確化—観光倫理学の構築にむけて	紀平 知樹		平成29年 ） 令和 元年(令和4年度まで延長)
看護実践過程の構造に基づく習熟度に合わせた人工呼吸器ケア教育支援モデルの開発	築田 誠	本田 順子 伊東 由康 宮脇 郁子 (神戸大学) 福田 敦子 (神戸大学) 正垣 淳子 (神戸大学)	平成30年 ） 令和 3年 (令和4年度まで延長)
精神障害者と家族、支援者を支えるためのダイアログを用いた参加型実践的研究	西池 絵衣子	坂下 玲子 川田 美和 竹端 寛 末安 民生 (佛教大学)	令和 3年 ） 令和 5年
統合失調症患者の睡眠の質を高める看護介入プログラムの作成と介入効果検証	武内 玲	柴田 真志 川田 美和	令和 3年 ） 令和 5年
フットケアを用いて2型糖尿病患者の身体理解を促すケアの効果検証	片岡 千明	柴田 真志 木村 ちぐさ	令和 3年 ） 令和 6年
造血幹細胞移植を受けたがん患者のフレイル看護支援モデルの構築	清原 花	川崎 優子	令和 3年 ） 令和 6年
流産・死産当事者と協同して作成する当事者への情報提供支援ツールの開発	遠藤 佑子		令和 3年 ） 令和 5年
閉経年齢の規定要因の解明および閉経年齢を考慮した疾患別リスク評価モデルの構築	上村 浩一	有澤 孝吉 (徳島大学) 釜野 桜子 (徳島大学)	令和 3年 ） 令和 6年
超高齢社会における認知症ケアモデルの開発	高見 美保	片岡 千明 小西 美和子 川田 美和 徳田 幸代	令和 3年 ） 令和 6年

看護基礎教育から臨床へ救急看護師の自律性を育む救急看護教育プログラムの構築	大江 理英	杉本 吉恵 (大阪公立大学) 旗持 知恵子 (大阪公立大学) 田中 京子 (大阪公立大学) 北村 愛子 (大阪公立大学) 林田 裕美 (大阪公立大学) 徳岡 良恵 (大阪公立大学) 井上 奈々 (大阪公立大学) 豊島 美樹 (大阪市立総合医療センター)	令和 元年) 令和 4年
“隠れた”特定妊婦・要支援家庭へのシームレスな支援システムの構築	石井 美由紀	清水 彩 (京都橘大学) 黒瀧 安紀子 (京都橘大学) 下田 優子 (京都橘大学) 高田 哲 (神戸大学) 上野 まき子 (京都橘大学)	令和 元年) 令和 3年 (令和4年度 まで延長)
脳卒中領域における摂食嚥下ケアに関する状況特定理論構築と評価指標の開発	栗村 健司	坂下 玲子	令和 4年) 令和 7年
高等学校における精神保健教育の現状と支援モデルの検討	菊池 奈津	西池 絵衣子	令和 4年) 令和 6年
地域の診療所における心疾患患者に対する具象的アプローチ準実験的研究	濱上 亜希子		令和 4年) 令和 6年
終末期患者家族の集中治療後症候群(PICS-F)リスクアセスメントツールの開発	伊藤 由康	築田 誠 本田 順子 坂口 幸弘 (関西学院大学) 椿 美智博 (北里大学) 浅井 真理子 (日本医科大学) 横堀 将司 (日本医科大学)	令和 4年) 令和 7年
早産ハイリスク妊婦の早産予防のための外来看護支援方略の開発	岡邑 和子	工藤 美子 能町 しのぶ 沼田 富久美	令和 4年) 令和 7年

ハイブリッド型オンライン妊娠糖尿病教室プログラムの開発と有効性の検証	能町 しのぶ	渡邊 浩子 (大阪大学) 濱田 洋実 (筑波大学)	令和 4年) 令和 6年
特定妊婦・要支援家庭へのアウトリーチ型支援における ICT ツールの活用と効果検証	石井 美由紀	本田 順子 下田 優子 (京都橘大学) 黒瀧 安紀子 (京都橘大学) 上野 まき子 (京都橘大学)	令和 4年) 令和 6年
大学生の社会的時差や睡眠の改善を目指したレジスタンス運動を軸とした身体教育の構築	柴田 真志	藤林 真美 (摂南大学) 葛原 憲治 (中京大学)	令和 4年) 令和 6年
がんゲノム医療: Precision Nursing Care Program 開発	川崎 優子	内布 敦子 (敦賀市立看護大学) 田村 和朗 (近畿大学) 須藤 保 (神戸大学)	令和 元年) 令和 3年 (令和4年度 まで延長)
医師との連携により訪問看護師の役割拡大を図る訪問看護指示書の評価研究	大村 佳代子		平成30年) 令和 3年 (令和4年度 まで延長)
非正規雇用形態で働く育児期の看護師のキャリア形成支援システムの検討	渡邊 里香		令和 元年) 令和 3年 (令和4年度 まで延長)
摂食嚥下障害を抱える脳血管障害患者の摂食嚥下リハビリ体験の状況特定理論の構築	栗村 健司		令和 元年) 令和 3年 (令和4年度 まで延長)
産科外来における妊娠糖尿病妊婦の看護支援モデル構築のための基礎的研究	川村 麻由香		令和 元年) 令和 4年
妊娠期から出産後 1 年未満の母子結核事例の予防可能性の検討	島村 珠枝		令和 4年) 令和 5年
大規模災害被災地域における持続可能な地域ケア体制の再構築戦略	増野 園恵	澤田 雅浩 林 知里 勝沼 志保里 (宮城大学) 尾島 俊之 (浜松医科大学) 松尾 香織 (武庫川女子大学)	令和 2年) 令和 5年

<p>里親家庭を対象とした健康支援プログラムの開発:地域連携体制の構築に向けた検討</p>	<p>梅田 麻希</p>	<p>増野 園恵 古川 恵美 林 知里 井上 靖子 石崎 優子 (関西医科大学) 福地 成 (東北医科薬科大学)</p>	<p>令和 3年) 令和 6年</p>
<p>壮年期からの健康セルフモニタリング能力を高める地域・職域包括ケアシステムの構築</p>	<p>林 知里</p>	<p>増野 園恵 梅田 麻希 豊田 宏光 (大阪公立大学) 岡野 匡志 (大阪公立大学) 種村 菜奈枝 (国立健康・栄養研究所) 尾形 宗士郎 (国立循環器病研究センター)</p>	<p>令和 3年) 令和 7年</p>
<p>早発初潮の社会的因果統合モデルの構築:ウイメンズヘルスの提言に向けた日英比較研究</p>	<p>梅田 麻希</p>		<p>平成30年) 令和 2年 (令和4年度まで延長)</p>